

第十六回 薬と顎関節症との関係

魚が静止している時、頭のエラが動き尾がわずかに左右に動かしているように人間も頭蓋骨とおしりの真中の骨（仙骨）の間がシーソーの様に体の上部と下部がゆっくりとシーソーの様に動いています（屈曲→伸展→屈曲→伸展→・・・）

これが病的な状態になりますと動きが鈍くなるか動かなくなるかどちらかです。（脳脊髄液の流れが悪くなるということです。）

病的な体が体に合わない薬を服用しますと左右の足の長さがよりいっそう左右差が大きくなります。

体に合った薬なら左右の足の長さが同じになるはずですが。（食べ物も同じです。新鮮な食品と腐った食品を比較して下さい。又は精製した塩とあら塩というように・・・）又左右の足の長さが違うということは肢関節・骨盤がズレ・捻れをおこなっているだけでなくおしりの骨盤と肩とが逆方向に捻れ（ぞうきんで水をしぼるように・・・）頭蓋骨も左右に逆方向に捻れ又左右が上下方向にズレ首の骨上部と下部が逆方向に捻れます。

そしてさらに長期間合わない薬を服用し続けますと外的障害を受けた状態になります。その時、首の骨はすべてが同方向に捻れをおこなっております。

本来ならば大きく捻れた骨を元の状態に戻す為に上下の骨は逆方向に捻れています。

この様に体に合わない薬を長期に服用していますと歯の咬み合わせの調整・歯の治療すればする程ドロ沼へ入る事になります。繰り返し申し上げますが頭蓋骨が捻れているということは体全体が捻れているということです。

それでは顎関節症を治すとなりますと首から下を先に調整し、そして頭蓋骨の調整を頭の外から又口の中へ指を入れて調整してからマウスピースでの調整・または歯の咬み合わせ調整をしなければなりません。

ですから5年10年では1人前に治すことは出来ないのです。15年・20年（経験ではなく）と教わってこの位要します。ですから日本だけでなく世界的に顎関節症を治せる医療機関が少ないのはこの事です。又私どもは患者さんにどうしてこんないいものを後世に伝えないのかと言われますが、誰にも習っていると云わないように・・・とストップをかけられている為に誰にも教えることが出来ないのが現状です。

言い忘れてましたが健康食品のサプリメントも同じものを長期間飲んでいきますと内臓のどれかが悪くなっていると言われていきます。普通の食品を食べることにより内臓から酵素を出して分解し吸収するのですがサプリメントはストレートに吸収される為どこかの内臓が働かなくなり機能が低下し弱り悪くなると言われています。その為に一生飲み続けなければならないと言われていきます。そこで体を元の状態に戻すには体の調整、内臓の調整をやるしかないと言われていきます。また期間は半年位要するといわれています。